



みんなの輪通信

vol.103



<https://www.minnanowa.org>



発行 2024年10月28日

《編集発行》社会福祉法人みんなの輪 〒981-3602 宮城県黒川郡大衡村大衡字鏡沢12番54 TEL(本部直通):080-2205-1820

理事長挨拶

みんなの輪では、障害のある利用者さんたちの作業として、農業(畜産含む)にも積極的に取り組んでいます(「農福連携」「畜福連携」とも呼ばれたりもします)。食や環境を意識した農業への取り組みは、当法人の大きな特徴・特色であり、ある意味トレードマークともいえます。実際、生協あいコープみやぎ様との農業を通じての協働や連携については、全国的にも非常に珍しく、かつ先駆的ということで多方面から大変注目されています。

利用者さんをサポートする職員自身もこの取り組みの意味を理解することが非常に大切となります。当法人では、毎年7月と9月に全職員対象の農業・実践研修として、美里町内で生産しているイチ

ゴの苗取りや定植の作業を行っています。この研修を行う目的は二つあります。一つ目は、職員同士の交流も含め自分たちの職場である「みんなの輪」を知り、他人事ではなく「自分事」として捉えること。二つ目は、福祉からの視点だけではなく、食や環境、さらには自分たちが暮らす世界について考えることです。

今年の9月の定植作業は天候に左右され思うように作業が進まず、「自然を相手に行う仕事は本当に難しい」とあらためて実感しました。



しかし、このことを実感することこそが、他者への感謝と助け合いにつながり、自然への敬意につながると考えます。これこそが、人と自然を大切にするみんなの輪の本質です。

理事長 仲野谷 仁

みんなの輪 ホットニュース

～レクリエーション復活～



2023年5月より新型コロナウイルスが5類感染症に移行となつてから、早1年半近くが経とうとしています。みんなの輪では、利用者さんにとって作業と同じくらい大切なものに「レク活動」があります。

事業所によって内容に違いはあれど、「皆で意見を出し合って、やりたいことをする。行きたいところに行く」のがルールです。それがコロナ禍では限られた内容にせざるを得ませんでした。5類移行を機に復活。それでも移行直後は周囲の感染状況なども気にしながら控えめにやってきました。



そして今年度。やっと、気持ち的にも含めて「例年通り」楽しんでもらえる状況になったように思います。この時期は旅行を計画している事業所も多く、あれこれ考える皆の声が聞こえてきそうです。

常務理事 櫻田 真悦



今回はあいあいファームわ・は・わ田尻の利用者、櫻井諄也さんにお話を聞きました!!

わ・は・わ田尻の櫻井諄也です。ここで働き始めて8年になります。作業内容は豚と牛を育てることで、餌やりや、餌になるパンの回収、豚舎の清掃などいろいろなことがあります。なかでも好きな作業は仔豚の移動で、毎日職員や仲間と元気に働いています。



わ・は・わ田尻 櫻井諄也さん

作業以外にもレクリエーションでバーベキューをしたり、いろいろな所に出かけたりもします。休みの日は家族とどこかに出かけたり、歌やダンスの練習をするのも好きです。忙しくて楽しい日々を送っています。これからもみんなと力を合わせ頑張りたいと思います!

生活介護日記

まだまだ暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。

わ・は・わ広瀬では、七夕に流しそうめんを行いました。初体験の方もいて、なかなかすくえず秘技『手』を使って大盛り上がりでした★他にもプランターで育てたキュウリやトマト、チーズやゼリーなども流しながら、みんなでおなか一杯になるまで何回もおかわりをしました!! 短冊には「ディズニーランドにいきたい」「プールに入りたい」などの願い事を書いて飾り、早速叶った利用者さんもいたようです。レクリエーションが日々の楽しみになればいいなと思い毎月いろいろと企画してまいります!



～わ・は・わ広瀬～

〒989-3126 仙台市青葉区落合2丁目2-41
TEL: 022-392-0851 FAX: 022-392-0861
E-mail: wahawa-hirose@minnanowa.org

